

どんな学校



になるの？

ひがしむらやま

みらいのはぎ小 タイムズ

第2号

令和7年5月発行

「みらいのはぎ小タイムズ」は、これから萩山小学校がどのような複合施設に生まれ変わるのか、現在の状況を児童・保護者の皆さんや萩山エリアにお住まいのかたに向けたお知らせとして作成しています。



いよいよ始まります！

萩山小学校は周辺の図書館・公民館・児童クラブ・憩いの家・集会所といった機能をもった、複合施設として生まれ変わります。

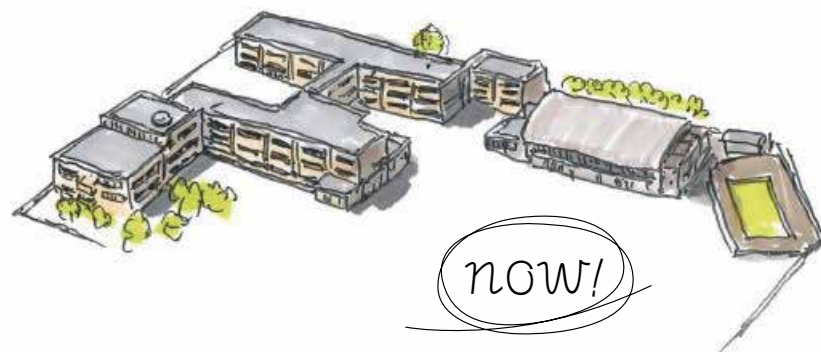
令和12年度に使用開始できるように準備を進めており、令和7年度中に設計・工事等を行う事業者の選定を行います。

新しい施設は60年以上使用するため、将来、クラス数の増減や部屋の使い方が変わっても、柔軟に対応できるように、シンプルにつくりとします。

そして、世代を越えた交流が生まれ、地域のコミュニティの拠点として、誰もが気軽に立ち寄れる居場所となることを目指しています。



教室のイラスト
※あくまでイメージです



どんな学校になるの？

1 セキュリティ

新しい萩山小学校には、学校関係者以外は自由に入出入りすることができないつくりとするため安心です。

2 教室

ICT機器を活用した学習も行いやすいつくりとします。また、天井の高さや吸音対策など、児童が集中できるように配慮します。

3 図書室

学校図書室と公共図書館が併設されるため、図書室にない本も読むことができるなど、学習の幅が広がります。

4 プール

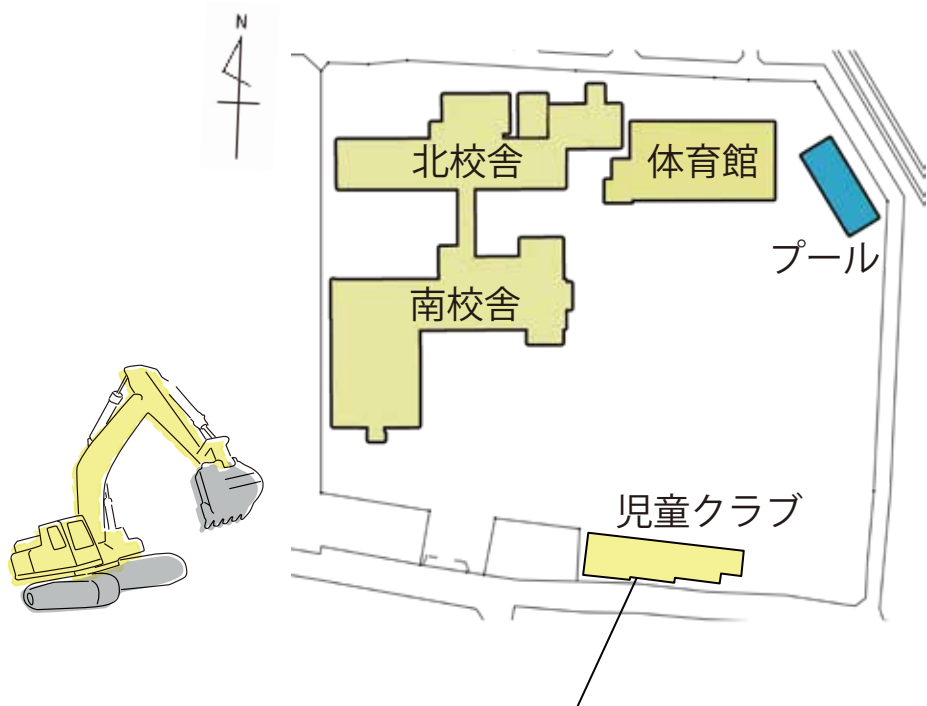
一部の市立中学校では、既に外部のプールで水泳授業を実施しており、専門のインストラクターが加わった授業が好評です。新しい萩山小学校にはプールをつくらず、外部のプールで水泳授業を行います。

5 給食

近隣の東萩山小学校の給食室が狭く、老朽化が進んでいるため、新しい萩山小学校の給食室で2校分の給食を調理し配送します。

上から見てみよう！

多額の費用がかかる仮設校舎は建てず、現在の校庭に新しい施設を建設したあと、引越し・旧校舎の取り壊しを行います。

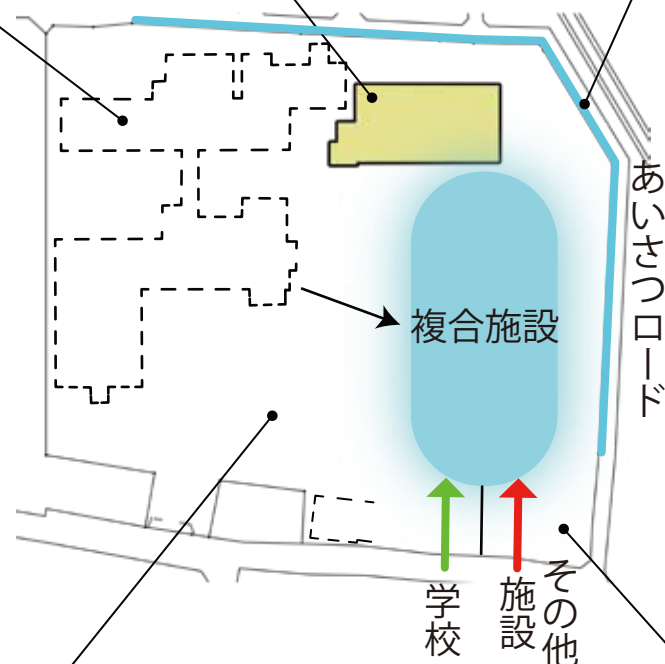


児童クラブも、工事中は引き続き使用し、完成後は新施設内に設置します。

工事現場には囲いを行うなど、安全に配慮します。また、工事期間中も体育の授業などが行えるよう校庭を確保し、工事を進めます。

体育館は校舎より新しいので、引き続き使用します。

東村山第三中学校の生徒などに限って萩山小学校の中を通行できていた「あいさつロード」を、地域住民の皆さまにも使っていただけるように歩道として整備します。



学校とその他の施設の出入口を別々にすることで、セキュリティを強化します。

公民館・図書館のアップデート

これまでの萩山公民館でできることは維持しつつ、より多くの皆様に使っていただけるよう工夫します。個人やグループなどの形態や目的が異なる利用者が快適に利用できるように、これまでの公民館の枠組みにこだわらず、新たなコミュニティ施設づくりを目指して集客を図ります。

新しい公共図書館は、図書館スペースだけでなくコミュニティゾーン全体で読書ができるようにします。また、グループ学習や読み聞かせなどができるように、音や声を出せる「動ゾーン」と、静かに読書や勉強を行える「静ゾーン」に分けるなど、様々な利用場面や方法に対応できるように整備します。



公共施設再生に関する詳しい情報は市ホームページをご覧ください

https://www.city.higashimurayama.tokyo.jp/smph/shisei/keikaku/management_smartcity/shisetusaisei/index.html



スケジュール

事業費の算定など

5月

物価上昇等で建設費も高騰しています。見込んでいた予算では契約ができない”不調”が全国で相次いでいることも踏まえて、事業費を算出します。

予算審議・公募

6月

事業費の算出後、市議会で予算審議を行います。可決された場合は、すみやかに設計や工事を行う事業者の募集（公募）を開始します。

事業者の選定

12月

事業者の皆様に施設の設計案などを提案していただき、審査を行います。その審査には、市長、地域づくり等の専門家、教育委員や市民（公募予定）にもご参加いただき、1番評価が高かった事業者と、契約に向けて協議を行います。

事業者との契約

3月

事業者との協議が整い次第、契約を締結します。令和8年度以降に設計や工事が始まります。

発行：東村山市教育委員会教育政策課
東村山市公共施設マネジメント課